

三興バルブホールディングス

◆本社／福岡市博多区石城町 12-1 ◆TEL／092-281-2763

Growth 2026
Companies

ジュニアボード参加メンバーと各社社長



配管モジュールを製作する「宮若.BASE」



長崎 洋也 社長

創業80周年に向け事業領域拡大図る

ワンストップ体制で生産性向上を支援

九州一の配管技術商社 独自技術で高い競争力

三興バルブホールディングス（HD、福岡市）は、九州最大の管工機材商社である三興バルブ継手（同市）をはじめグループ内に設計、加工、工事などを手掛ける9社を擁する。同HDは、水道やガスなど社会配管インフラ設備資材の設計から製作、販売までを行う一貫体制を強みに地域社会を支えている。

同社は、1947年に前身の三興商会として創業。創業者・長崎洋六氏が掲げた「何でも揃う」の理念のもと、九州・沖縄各地に物流機能を備えた支店・営業所を展開してきた。2019年には、グループ経営機能の強化と意思決定の迅速化を目的に持株会社体制へ移行。25年12月期のグループ売上高は240億円、従業員数は約400人、来年には創業80周年という大きな節目を迎える。

こうしたなか、建設設備業界

が直面する人手不足や技術者不足といった課題の解決に向け、グループ各社の専門性を結集した独自の「+αF（アルファフィット）システム」を構築している。同システムは、現場調査から設計、作図、資材調達、加工、モジュール

製作、納品、現地工事までをワンストップで提供。従来は発注者が複数企業へ個別に発注していた工程を一元化することで、調整業務の負担軽減を実現し、現場の生産性向上に貢献している。

その中核を担うのが、24年に稼働した「宮若.BASE」（福岡県宮若市）だ。同施設では、配管設備を事前に加工・組み立てたモジュール製品を製作している。さらに、熟練溶接技能者の技術やノウハウをプログラム化したロボットシステムを導入するなどDXを積極的に推進。省人化と品質の均一化を図りながら、高品質な製品の安定供給を実現している。

幹部候補者育成に注力 目標は20人の社長輩出

同HDは、人材育成と次世代リーダーの創出を経営の重要テーマに位置付けている。将来的には「20人の社長を輩出する」という目標を掲げ、その取り組みの一環として24年に経営参画制度「ジュニアボード」を立ち上げた。同制度では、グループ各社から毎年約10人の20～40代の社員を選抜し、新規事業の企画や経営課題の検討に携わらせることで、次世代経営人材の育成を進めている。

一方、昨年は新たなグループビジョンの策定にあたって、グループ各社から集まった理念プロジェクトメンバーが中心となり「建設に、新しい流れを。」を策定した。今後も経営方針や企業理念の構築に社員参画の機会を設けるなど創業80周年を見据え、事業領域の拡大と持続的成長を支える人材基盤の強化に力を入れていく。

Vision

建設に、 新しい流れを。

三興バルブグループは

設計・調達・製作・配送の強固な連携による

一気通貫のグループ力を活かし、

建設業界の課題に挑戦します。

従来のやり方にとらわれない自由な発想で

新しい技術やしくみを生み出し、

建設に関わるすべての人が

笑顔でワクワクし続けられる未来をつくります。

建設業界のお客様の課題をワンストップで解決!!

グループの総合力を活かし、設計・施工図・調達・製作・施工まで一気通貫で対応します。



SANKOVALVE GROUP



グループの力で
建設業界の未来を支える。

九州各地で、多くの現場・プロジェクトに
携わらせていただいております。



ららぽーと福岡



ワンビル福岡



福岡空港



三興バルブホールディングス株式会社

所在地 〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町12-1
TEL 092-281-2763



会社紹介ページ



公式YouTube



公式Instagram